

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年5月8日

事業所名 Ecoleみるく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	1		少人数または個別でのレッスン体制をとっており、利用者さんのニーズに応じてスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切である	7	1	1		児童指導員の資格を有する講師、県芸学生のサポートスタッフを配置しており、十分対応できるよう配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	4		施設の構造上、バリアフリーが完全には行き届いていない箇所があるが、必要に応じてスタッフが補助を行える体制を整えております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4		ミーティングで、支援について共有し、複数の職員で振り返りをおこなっている。	週に1度の職員ミーティングを行い、実践のフィードバック、確認事項等、非常勤を含むスタッフ間で共有し、今後の支援に生かしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	4			保護者様から集計させていただいたアンケート結果をもとに、今後の支援の改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	5	2		自己評価は、法人のHPにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5	1		現在、外部評価機関は利用しておりません。今後検討していきたいと思っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	4		全体研修に加え、必要に応じて個人で研修に参加している。	毎年、年末と年度末に全職員対象の研修に参加し、療育の質の向上に努めています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	2			面談を実施し、ご家族様やお子様のニーズを聴きとらせていただき、また、お子様の現状に応じた支援内容をご提案できるよう心がけております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	4			事業所内で標準化されたアセスメントツールは現在使用していないので、医療機関等でのアセスメントや検査結果を共有させていただき、支援に反映させていただいております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	4		活動プログラムについては複数の職員で立案している。	週に1度のミーティングで、レッスンや利用者さんたちの状況について共有し、チームで立案を行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	4			発達の段階、また、利用者さんの家庭や学校生活の状況の変化に応じて、その時の課題に応じた活動プログラムを実施しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	4			平日は家に出て活動の幅を広げる、休日・長期休暇は学校の課題のサポート等、生活状況に応じた支援を設定して実践しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	3	1	個人レッスンをメインにしているが、ニーズに応じて同時間帯の利用者さんと交流している。	利用者さんのご要望に応じて、個別に活動する時間や、同じ時間帯に来る利用者さん同士で交流しながら集団活動する時間を設定し、計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	4			支援開始前に、当日の利用者の確認と、職員割り当て、支援内容の確認等を毎日行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	3			その日のレッスンをスタッフで振り返り、記録に残して次のレッスンに生かしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2			日々の支援について、計画に基づいた支援の記録を残し、検証、改善に活用しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	2			担当者の評価、日々の実践を児童発達支援管理責任者およびスタッフ間で共有し、状況の変化に応じて放課後等デイサービスの計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		ガイドラインの総則の確認を定期的に行ったほうが良い。	ガイドラインの総則を複数組み合わせ、複合的に支援を行うよう努めています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	2		児童発達支援管理責任者および利用者様を担当するスタッフが会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	4		よりよい支援のために、学校との常用共有、連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	3	1	当事業所では、医療的ケアが必要な利用者様の受け入れケースが現時点ではありませんが、利用者様の通院している医療機関との連携をして支援を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4	1	幼少期の成育歴の詳細の把握が支援にとって必要と思われる場合に、情報共有等連携体制の構築に努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	4		計画相談員さんをお交えて、移行支援の会議を行い、スムーズに就労移行を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5	2	系列の他事業所で実施しているインクルーシブなレッスンに参加しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5	2	那覇市からご案内があった場合には、積極的に参加させていただいております。昨年度はオンラインでの参加でした。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1		ご家庭や学校での様子を聴き、事業所での様子をお伝えし、情報共有をしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5	2	系列の他事業所において開催される学習会等へご参加いただいております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	3		ご契約時に内容をご説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	3		適宜、事業所内相談などの支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	2	現在、父母の会等の活動は行っていませんでした。今後、交流プログラム等を通じて保護者間の交流の場を設けさせていただきたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2		苦情対応についての体制を取り決め、ご契約時にご説明させていただいております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	5	2	会報はございませんが、特別プログラムのお知らせ、レッスンの様子や制作した作品などをLINE等で共有しております。
	35	個人情報に十分注意している	7	2		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	7		これから、地域住民との交流事業等も検討してまいりたいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2	マニュアルを置いてあることを定期的に周知する。	ご契約時にはご説明しておりますが、保護者に毎年度最初のお便りで、周知していきたいと思っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			年1回の机上訓練、年1回の避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1		職員研修において、虐待防止委員会を開催しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	5		職員研修において、虐待防止委員会を開催し、身体拘束等の必要な場合の確認などを行っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	3		食物アレルギーについて、現在医師の指示のある利用者さんはありませんが、来所中に飲食をする場合には、アレルギーの確認を行っております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	5		